

## 気候情報

### 2012年6月の日本の天候

- 西日本太平洋側で顕著な多雨
- 西日本太平洋側、沖縄・奄美で日照時間がかなり少なかった

- 北日本日本海側、東日本日本海側では少雨多照

#### 6月の天気概況

月前半は梅雨前線が日本の南海上に停滞し、上旬の中頃には台風第3号が沖縄付近を通過した。一方、北日本付近は北に偏った高気圧に覆われた。月後半は梅雨前線が本州付近に停滞し、台風第4号が19日に和歌山県南部に上陸した。また、21日に台湾付近で消滅した台風第5号に伴う暖かく湿った空気の影響で、梅雨前線の活動が活発となった。一方、北日本から東日本は周期的に北に偏った高気圧に覆われた。

降水量は、活発な梅雨前線や台風第4号の影響が大きかった西日本太平洋側でかなり多かったが、北に偏った高気圧に覆われた北日本から東日本の日本海側では少なかった。日照時間は、梅雨前線や台風の影響が大きかった西日本太平洋側と沖縄・奄美ではかなり少なかったが、東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側で多かった。気温については、北・東日本太平洋側ではオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で低温となった時期があった一方、月末は高気圧が北日本付近を覆ったため、北海道を中心に高温となった。

**上旬**：前半は高気圧に覆われ日本海側を中心に晴れの日が多くなったが、後半は梅雨前線が本州の南岸に北上し、北日本太平洋側、東・西日本では曇りや雨の日が多く、西日本から東北南部にかけて梅雨入りした（速報値）。沖縄・奄美では、梅雨前線や台風第3号の影響で曇りや雨の日が多くなった。

**中旬**：前半はオホーツク海高気圧が現れ、北・東日本太平洋側で曇りや雨の日が多くなったが、北・東日本日本海側では晴れの日が多くなった。一方、梅雨前線が本州の南海上に停滞し、西日本と沖縄・奄美で曇りや雨の日が多くなった。後半は、梅雨前線が本州付近に停滞し、東北北部で16日ごろ梅雨入りした（速報値）。台風第4号が18日に沖縄の東海上を北上し、19日に和歌山県南部に上陸し、一旦海上に出た後愛知県東部に再上陸した。その後北東に進み20日には三陸沖で温帯低気圧に変わった。このため、全国的に曇りや雨の日が多く、北日本から西日本の太平洋側を中心に所々で大雨となった。

**下旬**：台湾付近で消滅した台風第5号に伴う暖かく湿った空気の影響で、本州付近に停滞していた梅雨前線が活発化し、西日本で洪水や土砂災害が発生した。一方、北に偏った高気圧が北・東日本付近を覆い、北・東日本で晴れの日が多く、北日本太平洋側と東日

本日本海側で、6月下旬の旬間日照時間としては1961年以降最も多い値を更新した。沖縄・奄美では、初めは梅雨前線や台風第5号の影響で曇りや雨となつたが、その後は太平洋高気圧が強まり、沖縄地方は23日ごろ、奄美地方は29日ごろ梅雨明け（速報値）した。

#### 6月の気候統計

**月平均気温**：北・東日本、沖縄・奄美では平年並で、西日本で低かった。

**月降水量**：西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。一方、北・東日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。

**月間日照時間**：西日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。一方、東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側で多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 6月の記録（1位更新のみ）

##### ・月降水量多い方から（mm）

延岡 991.0 宮崎 955.0 沖縄 1025.0

枕崎 1056.5

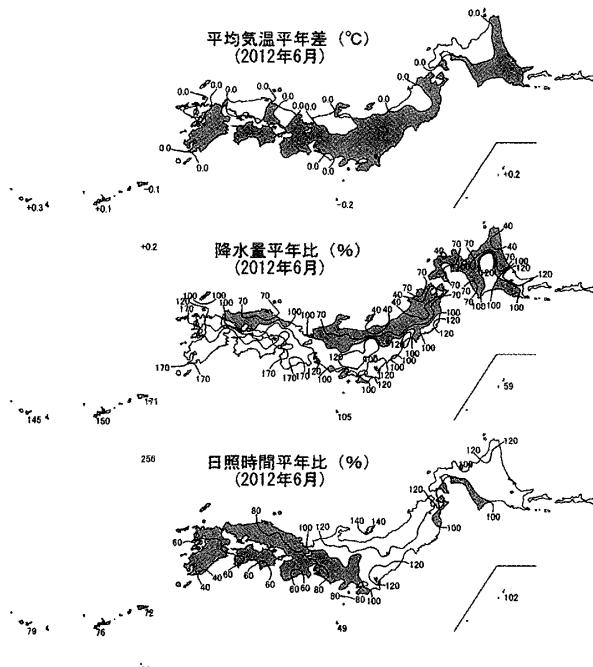
##### ・月降水量少ない方から（mm）

北見枝幸 15.0

##### ・月間日照時間少ない方から（時間）

尾鷲 66.8 八丈島 44.7 都城 51.2 沖縄 44.8

#### 2012年6月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。